otc 挑む拓く先端素材

2026年度
上期決算説明会

2026年11月25日

先端素材と技術で
ワクワクする未来を創造する

目次

挑む拓く先端素材

01 2026年度　上期決算実績

02 2026年度　通期業績見通し

03 中期経営計画 OTC2030
：2026年度の取組状況

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度　上期決算実績(事業状況)

挑む拓く先端素材

【全社概況】

- ✓ 民間航空機需要の高まりを受け、全般的にサプライチェーンは成長軌道へ本格移行も、足元では機体向けサプライチェーン内での一過性の在庫調整が2025年度下期から継続しており、本格需要回復には至らず
- ✓ 一般産業向け用途主体の国内向け需要の低迷は続いているものの、顧客の在庫水準の適正化が進展
- ✓ 上記環境の下、2026年度上期の業績は**売上高246億円（前年同期比▲23億円）**、**営業利益26億円（前年同期比▲14億円）**、 **純利益9億円（前年同期比▲16億円）**

【事業セグメント別概況】

チタン事業	• スポンジチタンの輸出向け売上高は前年同期比15%減少、国内向け売上高は同18%増加、営業利益は同47%減少 • 価格フォーミュラに適用しているチタン鉱石のインデックス価格下落による販売価格の一時的な低下 • 能力増強投資（生産能力1万トン増）は2027年度末までの完工に向け計画通り工事を進捗
高機能材料事業	• AI関連やMLCC向け需要は好調な状況が継続 • チタン合金粉末（TILOP®）において積極拡販を行ったことにより受注は増加 • 売上高は前年同期比13%増加、営業利益は同22%増加

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度　上期決算実績

挑む拓く先端素材

■業績概要

(金額：億円)	2025年度 上期実績	2025年度 下期実績	2026年度 上期実績	前年同期比
売上高	269	200	246	▲23
営業利益	40	15	26	▲14
経常利益	42	22	21	▲21
税引前利益	36	2	13	▲23
当期純利益	25	0	9	▲16
為替レート(円/$)	(146.2)	(154.2)	(160.5)	—
(期末日レート)	(148.8)	(159.9)	(157.3)	—

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 上期決算実績

挑む拓く先端素材

■事業セグメント別業績

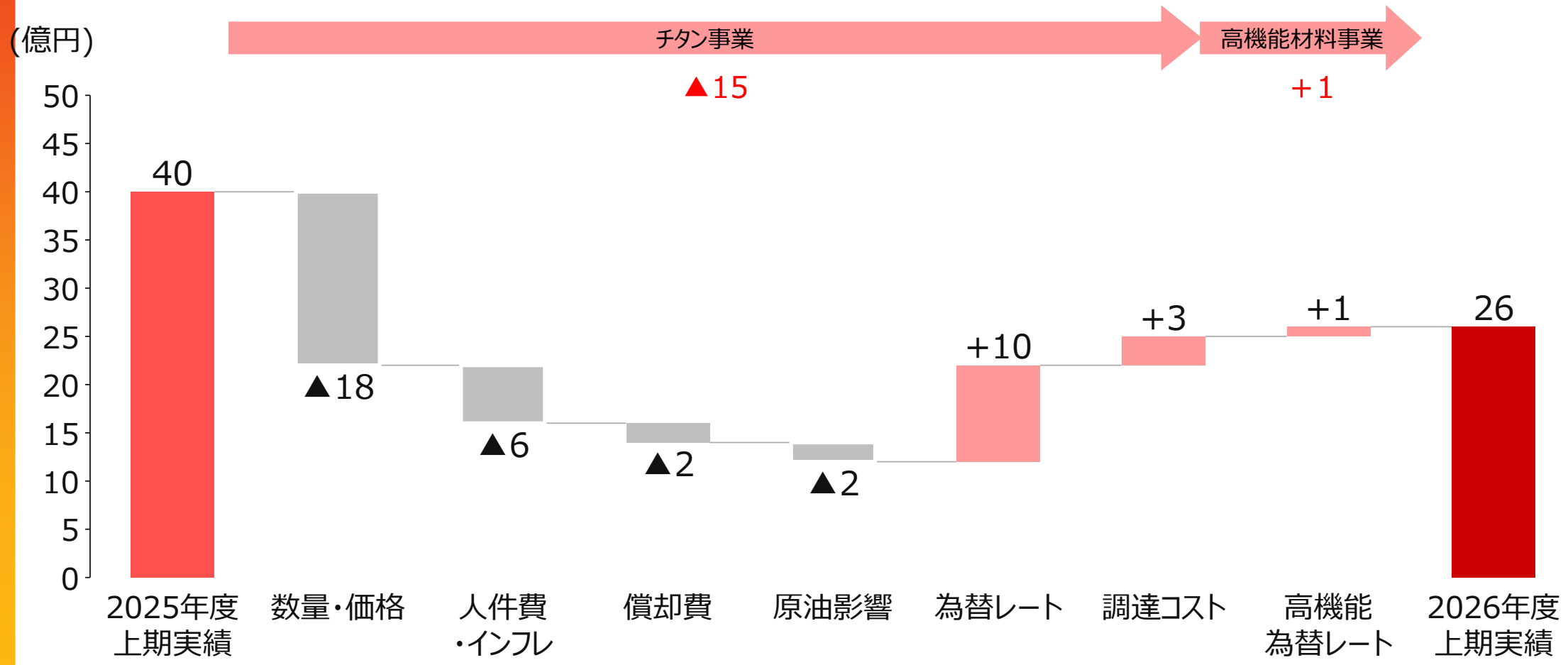
(金額：億円)		2025年度 上期実績		2025年度 下期実績		2026年度 上期実績		前年同期比	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	国内	25	33	45	13	29	18	+4	▲15
	輸出	211		123		179		▲32	
	計	236	33	168	13	208	18	▲28	▲15
高機能材料事業		33	7	32	2	38	8	+5	+1
合計		269	40	200	15	246	26	▲23	▲14

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 上期決算実績

挑む拓く先端素材

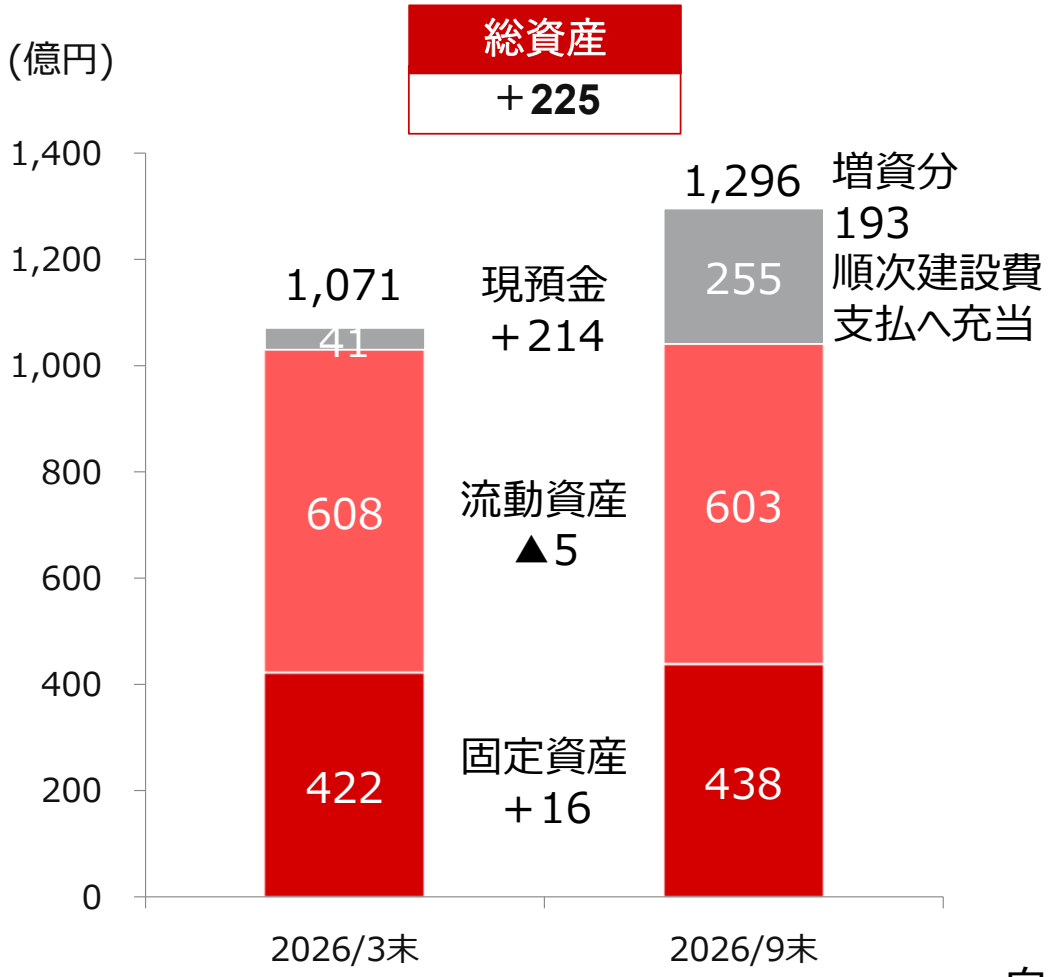
■営業利益増減内訳（対2025年度上期実績）

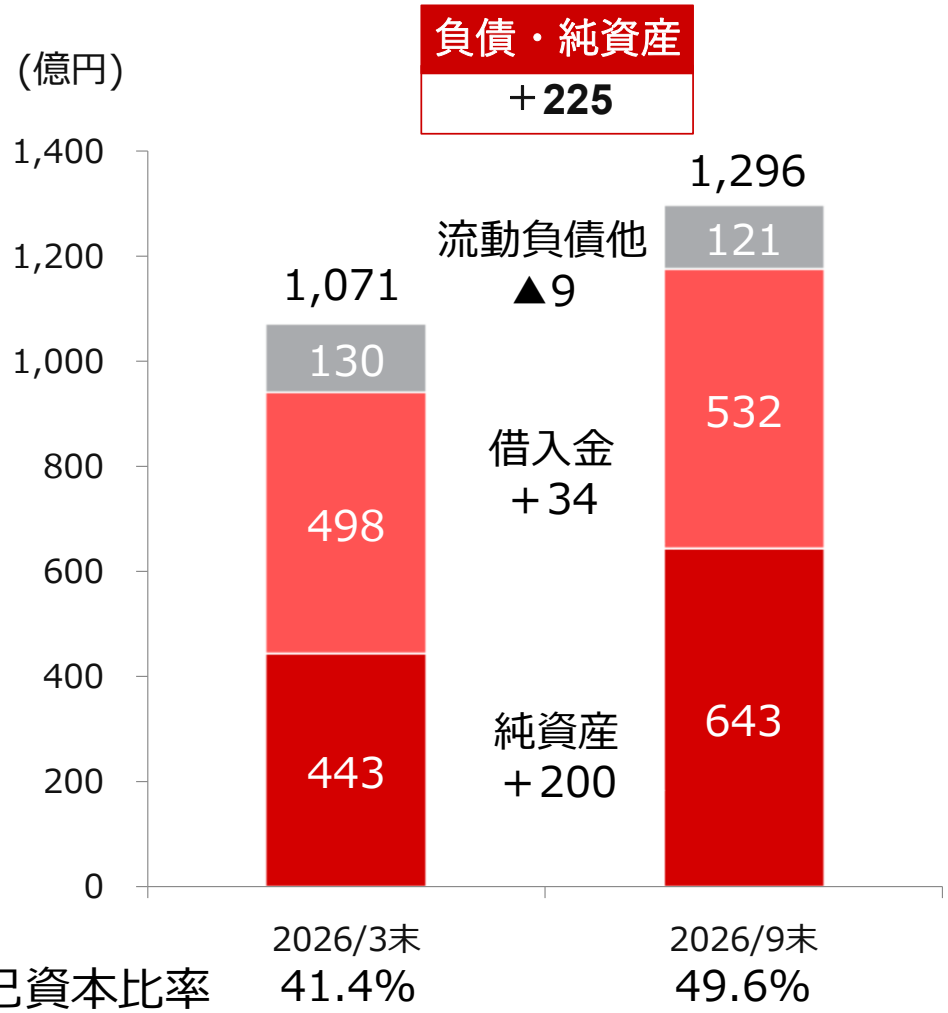


Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度上期決算実績 ■B/S（対2026年3月末）

挑む拓く先端素材





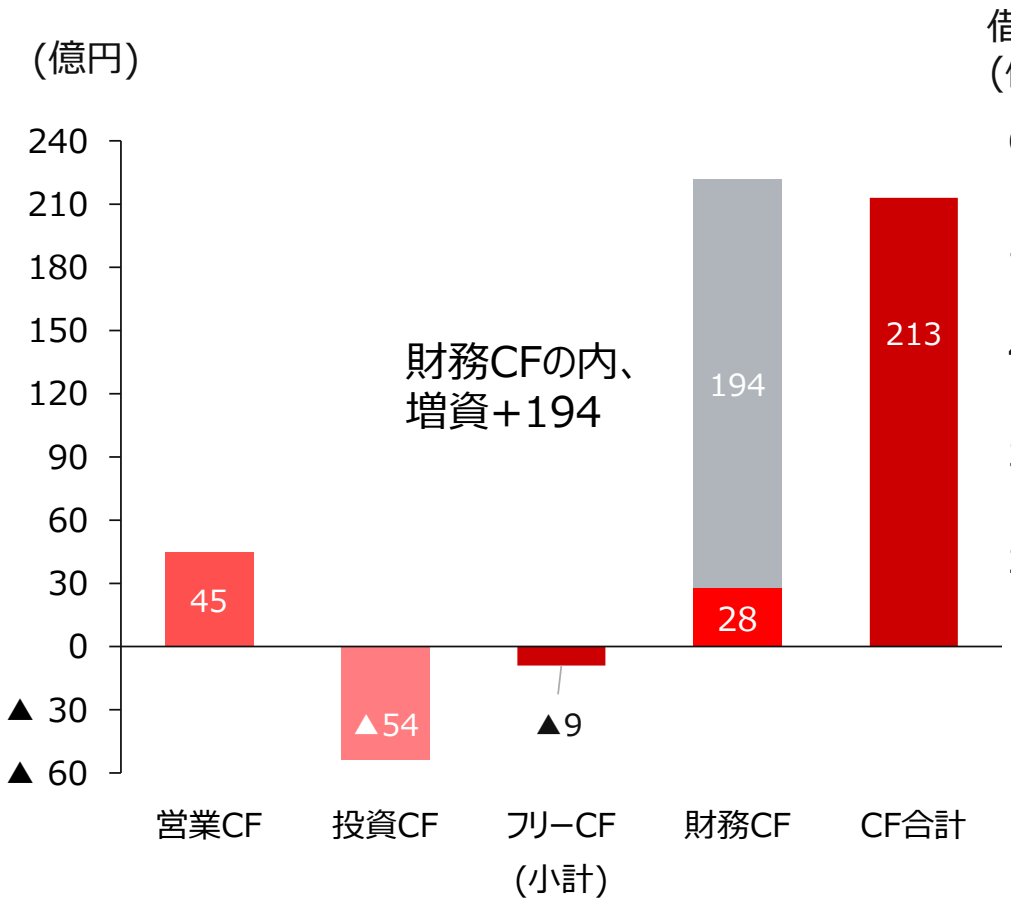
自己資本比率　2026/3末 41.4%　2026/9末 49.6%

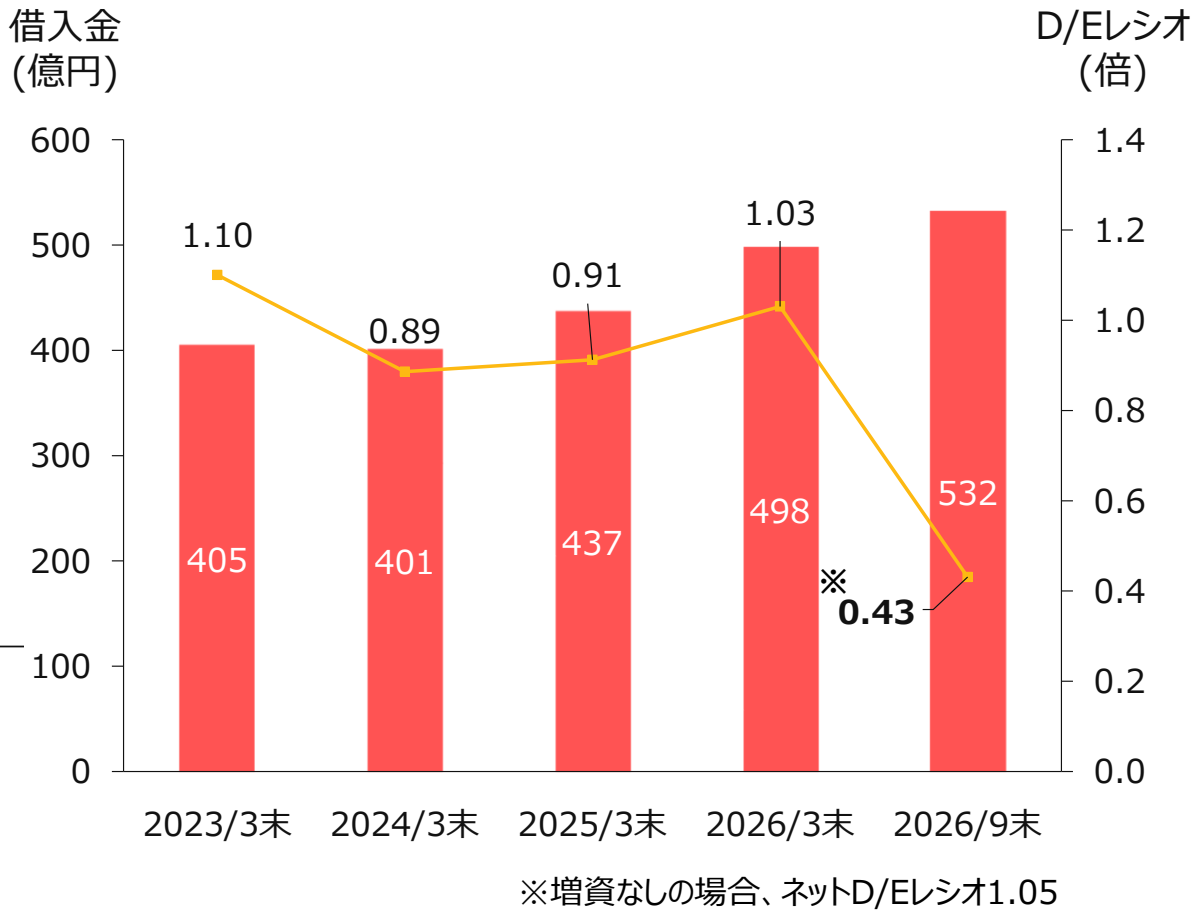
Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 上期決算実績

挑む拓く先端素材

■キャッシュフローおよびD/Eレシオ





※増資なしの場合、ネットD/Eレシオ1.05

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

目次

挑む拓く先端素材

01 2026年度　上期決算実績

02 **2026年度　通期業績見通し**

03 中期経営計画 OTC2030
：2026年度の取組状況

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度　通期業績見通し

挑む拓く先端素材

(金額：億円)	2025年度通期実績	2026年度見通し 上期(実績)	2026年度見通し 下期	2026年度見通し 通期	2025年→2026年 通期差異	前回公表値	前回対比 通期差異
売上高	469	246	237	483	＋14	480	＋3
営業利益	55	26	16	42	▲13	37	＋5
経常利益	64	21	8	29	▲35	29	±0
税引前利益	38	13	11	24	▲14	26	▲2
当期純利益	25	9	8	17	▲8	17	±0
ROS	12%	11%	7%	9%	—	8%	—
ROE	6%	3%	3%	3%	—	4%	—
為替レート(円/$)	(150.2)	(160.5)	(150.0)	(155.2)	—	(150.0)	—
(期末日レート)	(159.9)	(157.3)	(150.0)	(150.0)	—	(150.0)	—

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 通期業績見通し

挑む拓く先端素材

■事業セグメント別業績

(金額：億円)

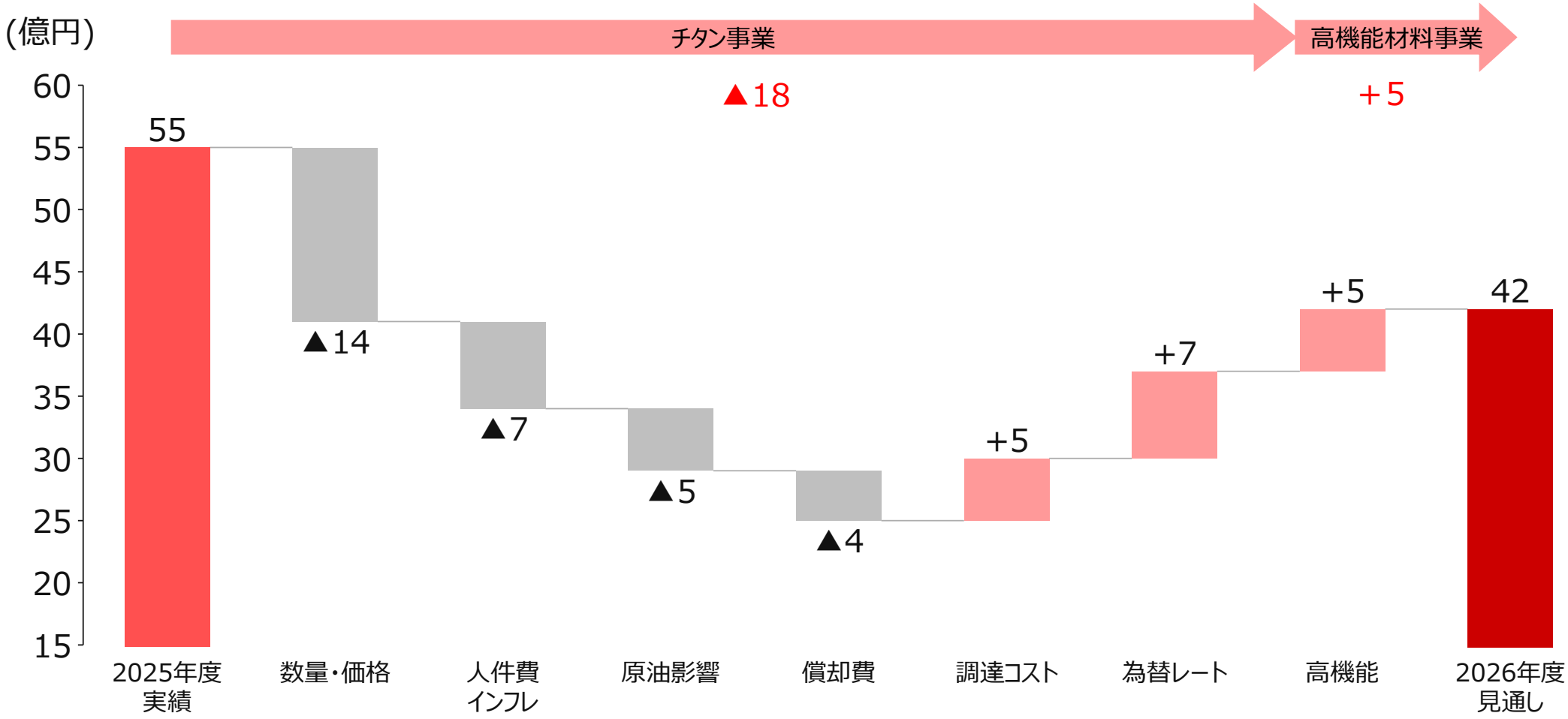
		2025年度 通期実績		2026年度 通期見通し		通期差異	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	国内	70	46	86	28	+16	▲18
	輸出	334		324		▲10	
	計	404	46	410	28	+6	▲18
高機能材料事業		65	9	73	14	+8	+5
合計		469	55	483	42	+14	▲13

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 通期業績見通し

挑む拓く先端素材

■営業利益増減内訳（対2025年度実績）

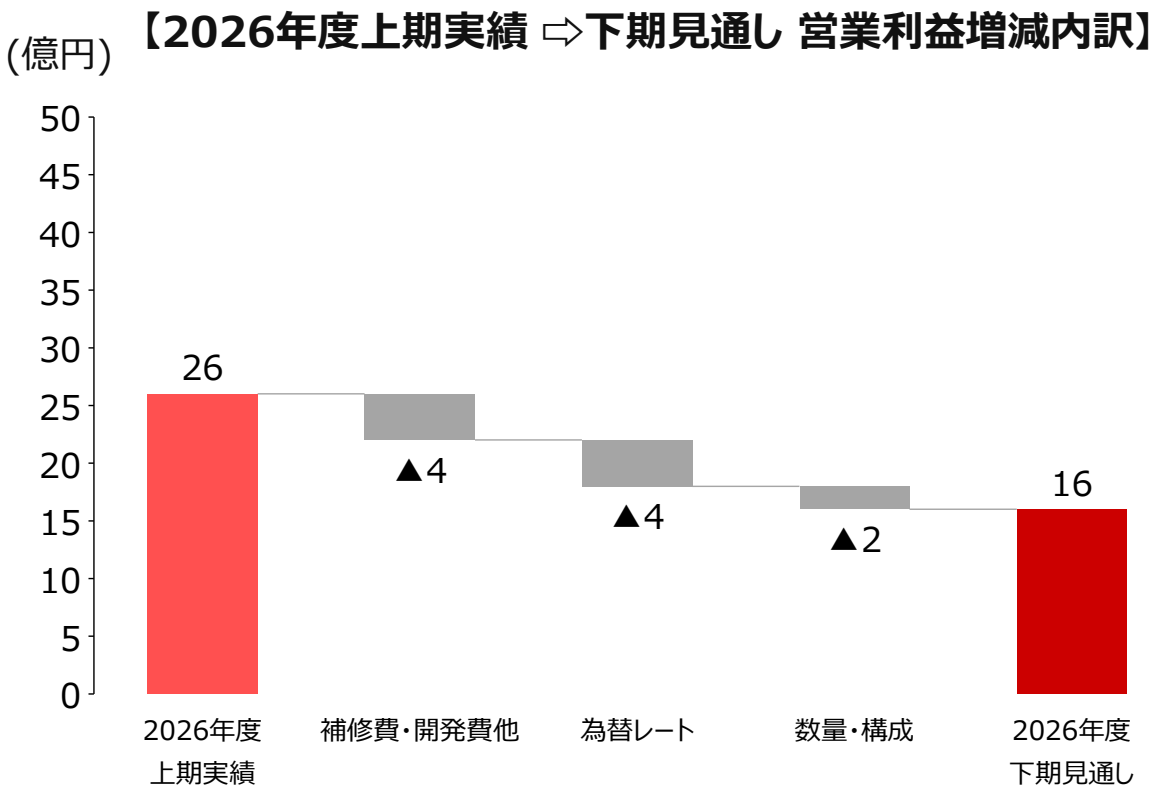


Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 通期業績見通し

挑む拓く先端素材

■営業利益増減内訳（2026年度上期対2026年度下期）



（参考）
【前回８月公表見通し ⇨ 今回公表見通し 】

売上高　　＋3億円（480→483億円）
営業利益　＋5億円（ 37→ 42億円）

営業利益増減内訳
為替レート　　：＋2億円
数量･構成　　：＋3億円

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

2026年度 通期業績見通し

挑む拓く先端素材

■配当について

株主還元方針

安定性に配慮しつつ25～35%の配当性向を目安とする。

	2026/3月期	2027/3月期 予想	前回公表
中間	5円/株	-	-
期末	13円/株	※13円/株	13円/株
年間	18円/株	13円/株	13円/株
(株数)	3,680万株	4,465万株 (+785万株)	

※今後の業績動向を踏まえて判断いたします。

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

目次

挑む拓く先端素材

01 2026年度　上期決算実績

02 2026年度　通期業績見通し

03 **中期経営計画 OTC2030**
：2026年度の取組状況

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

中期経営計画 OTC2030 ロードマップ

挑む拓く先端素材

- **2030年度に向けて売上高1,000億円、営業利益率（ROS）20%　ROE 20%の実現を目指す**
- **経営課題解決のため「事業」「財務」「サステナビリティ」の各戦略を策定**
- **2026年度は、中期経営計画 OTC2030の1年目として、収穫期間に向けた各取組を着実に推進する**

【2026年度 主な取組】

事業	・スポンジチタン新工場の建設 ・スポンジチタン販売価格適正化 ・イノベーション開発比率向上
財務	・チタン増産投資への資金対応
サステナ	・製造プロセスの脱炭素化継続

中期経営計画 OTC2030より抜粋

売上高 469億円 ROS 12% ROE 6%
2025

種まき期間

売上高 650億円 ROS 15%
2028



収穫期間

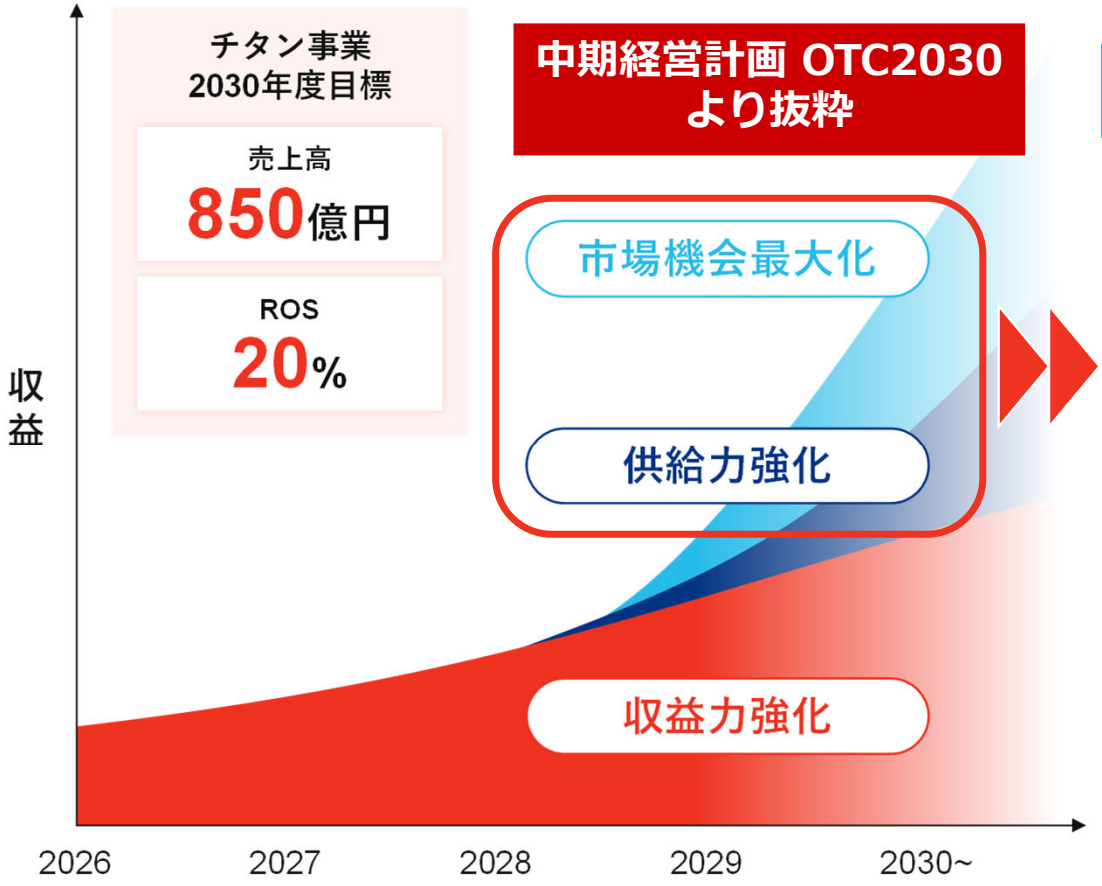
売上高 1,000億円 ROS 20% ROE 20%
2030

事業	・スポンジチタン新工場フル生産定着 ・高機能材料事業 ROS 30%
財務	・株主還元の見直し検討
サステナビリティ	・環境分野への新規事業参入 ・基幹システム刷新によるデータドリブン経営推進

チタン事業の持続的な成長

挑む拓く先端素材

- チタン事業においては、「収益力強化」「供給力強化」「市場機会の最大化」を軸として持続的な成長を図る
- 2026年度においては、「市場機会最大化」および「供給力強化」に向けた取組を主に推進



▸市場機会最大化

航空機需要の拡大を背景に、価値に見合った価格転嫁を徹底し、利益率の最大化
⇒市場環境を見極めて、
　有利な条件での次期LTC締結を目指す

▸供給力強化

①需要拡大に応える供給体制の構築
（4万t/Y ⇒ 5万t/Y）
⇒計画通りの工事の完工および
　即戦力化に繋げる品質認証の推進
②需要の急増に耐えうる体制の維持

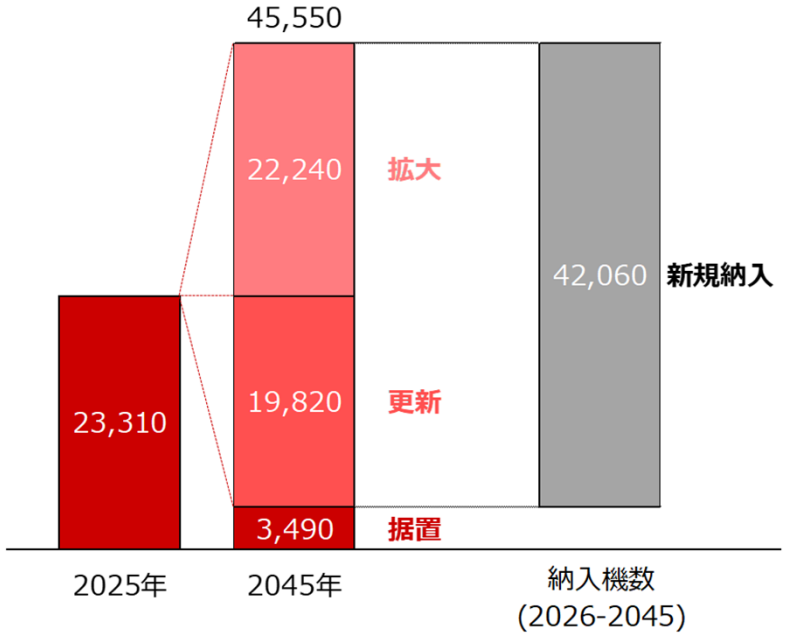
Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

チタン事業の持続的な成長：市場機会最大化

挑む拓く先端素材 otc

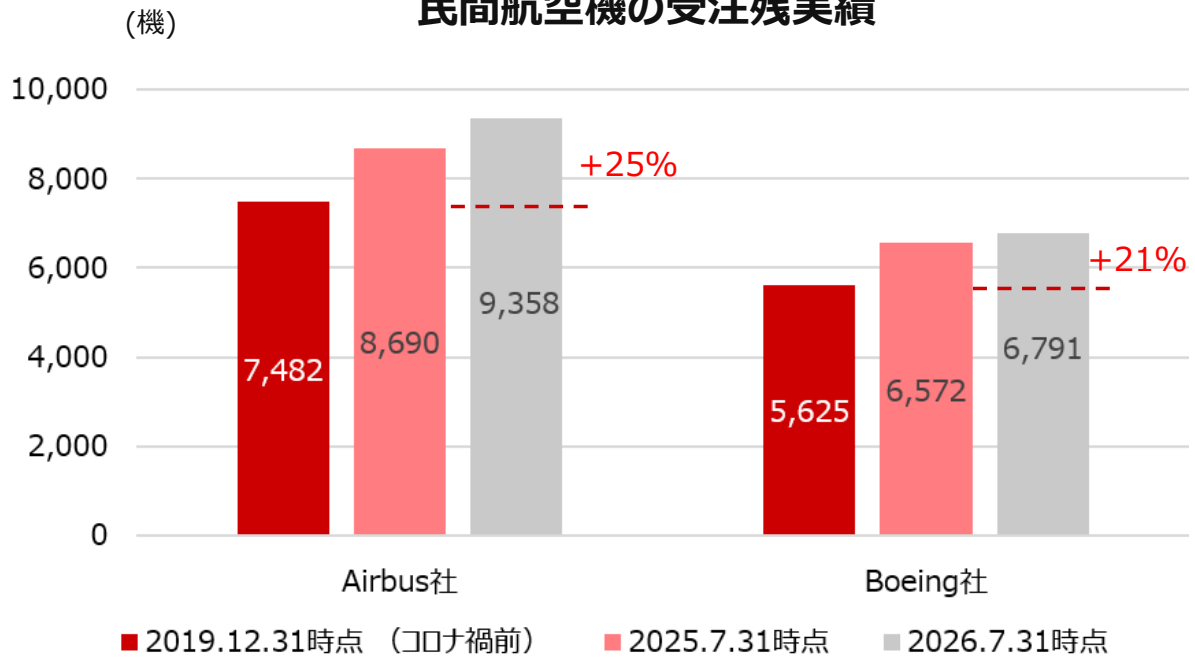
- 民間航空機の運航機数は、従来の見通しのとおり今後20年（2025～2045年）で倍増する見通し
  そのうち新たに必要とされる機数は2026年から2045年の20年間で約42千機
- また民間航空機の受注残はコロナ禍前以上に増加、昨年同時期からも更に積み増しされており、
  民間航空機需要は引き続き堅調、今後も更なる成長が見込まれる

民間航空機の運航機数予測



(Airbus公表資料を基に当社推定)

民間航空機の受注残実績



(大手航空機メーカーの発表資料を基に当社作成)

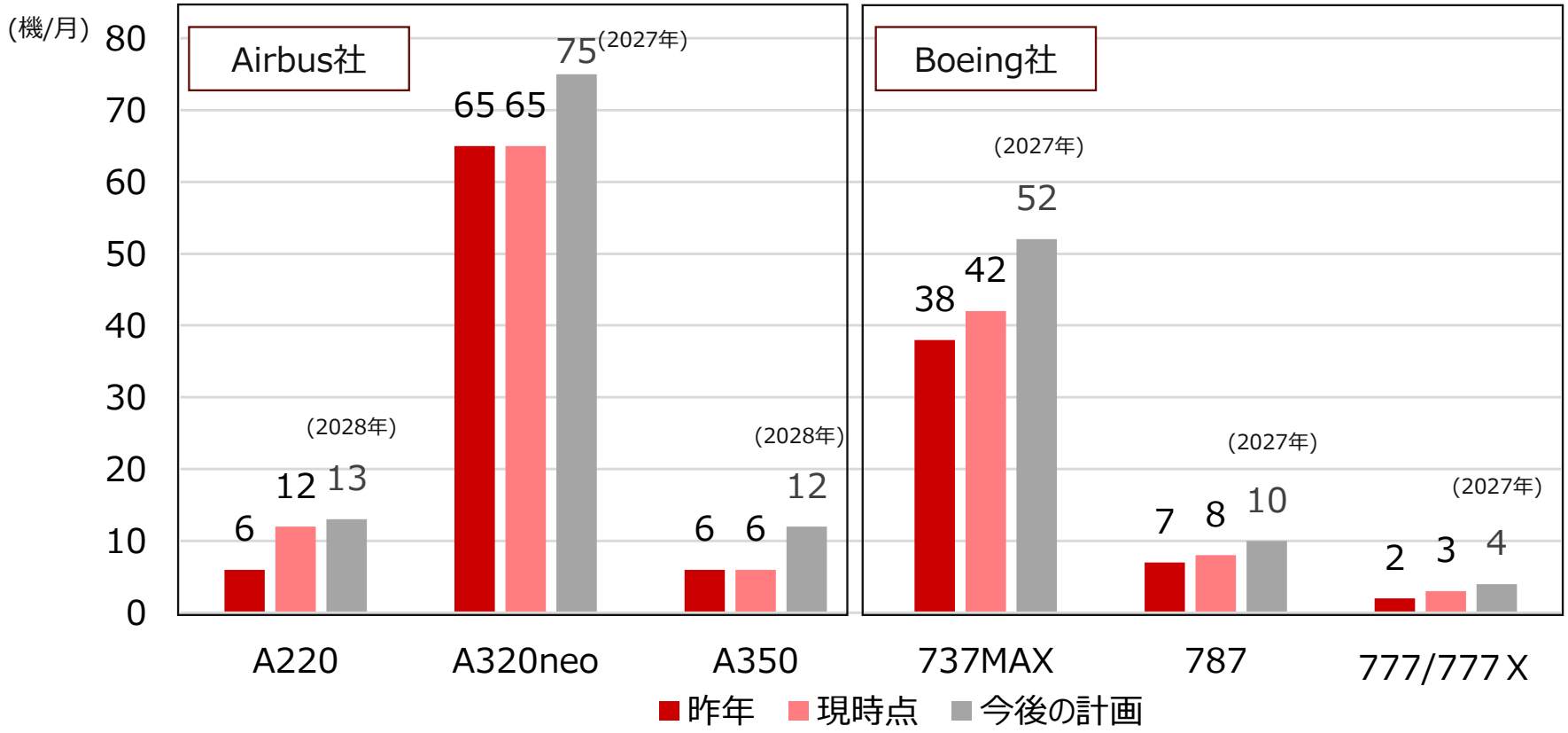
Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

チタン事業の持続的な成長：市場機会最大化

挑む拓く先端素材 otc

■ **民間航空機の生産機数は、Boeing社の737主翼供給制約など未だ克服すべき課題が存在し、足元の増産ペースは若干の遅れがあるものの、中長期的な増産計画としては変更なし**

欧米の民間航空機生産機数見通し



（大手航空機メーカーの発表を基に当社推定）

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

チタン事業の持続的な成長：市場機会最大化

挑む拓く先端素材

【市場環境の見通し】

- 機体OEMのサプライチェーン内での在庫調整は、進展しているものの、一部品種において、2027年も在庫調整が継続する見通し
- ただし、在庫調整の進展に伴い、機体OEMのチタン展伸材購入量は、2026年比では増加する見通し
- サプライチェーン内での在庫調整も順次解消に向かっており、2027年において凡そ適正水準へ
- スポンジチタンの需要もそれに応じて回復していく見通し

【次期LTCの交渉状況】

- 市場環境を見極めて、有利な条件にて次期LTCの締結を目指す
- 次期LTCでは、原燃料やインフレ等のコスト変化を価格に転嫁できる価格フォーミュラに加え、市場環境を背景にベース価格の見直しによるマージン改善を追求
- 生産能力増強に関する価格プレミアムについても次期LTCとは切り離した形で新工場立ち上げ後に協議・決定することで顧客との合意を得ている

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

チタン事業の持続的な成長：供給力強化

挑む拓く先端素材

- **日本政府から支援を受けて建設を進めている新工場（スポンジチタン生産能力増強）の工事は計画通りに進捗しており、現在は建屋の建設工事に着手**
- **新工場の建設と並行して、品質認証の取得に向けて需要家との連携を前広に実行中**
- **新規株式の発行により本件に関する資金対応の大部分が完了**

項目	内容	2024年度	2025	2026	2027	2028
機関決定	・生産能力増強　取締役会決議 ・経産省供給確保計画　認定	2024/9/2 ★				
事前準備工事	・構内レイアウト変更	完了				
	・新工場予定地　既存設備撤去	完了				
新工場建設	・建屋建設工事	設計,建築確認申請				
	・生産設備設置工事					完工目標 2028/3月末
品質認証			需要家との認証計画合意			
立上げ・生産	・2028年度～生産開始目標					

11/25

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.

チタン事業の持続的な成長：供給力強化

挑む拓く先端素材

【精製工場新築工事】



2025/2月：着工前



2026/6月：旧建屋撤去完了
杭打ち工事開始



2026/11月：建屋建設工事を推進中
（2026/9月から基礎工事開始）

【製品工場増築工事】



2025/8月：着工前



2026/6月：旧テニスコート撤去完了
杭打ち工事



2026/11月：建屋建設工事を推進中
（2026/9月から基礎工事開始）

Copyright © 2025 OTC All rights reserved.

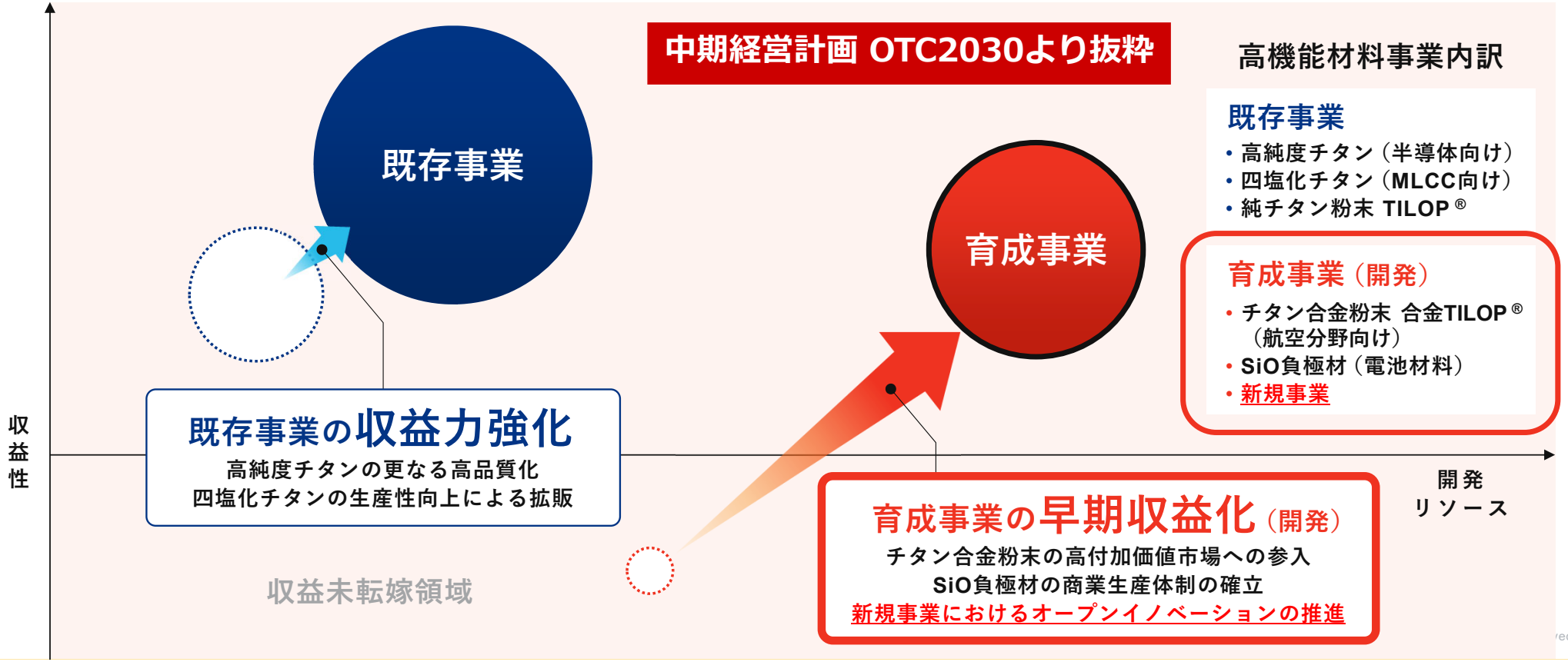
事業ポートフォリオの変革

挑む拓く先端素材

- 育成事業の早期収益化に向けて、新規事業の萌芽に向けた開発を促進中
- 新規事業においては、環境面での価値を創造し、将来への収益源へ結びつけることを目指している

⇒チタンの特長を活かした新規事業を探索

：サンゴ育成基盤の開発とそれを起点としたネイチャーポジティブ事業の開発



事業ポートフォリオの変革

挑む拓く先端素材

■ チタンの特長を活かした新規事業を探索
：サンゴ育成基盤の開発とそれを起点としたネイチャーポジティブ事業の開発

＜なぜサンゴ育成にスポンジチタン？＞

チタンのサンゴ育成における優位点

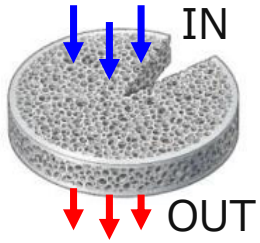
- **骨成分との親和性良**
  サンゴ骨格と骨は類似
  ➡サンゴとの親和性良
  ※サンゴ育成に関するチタン活用の過去の報告例もあり
- **耐腐食性**
  ➡海中で長期間錆びない
- **軽量かつ強靭**
  ➡丈夫な構造物を構築

スポンジチタンを活用したサンゴ育成基盤の開発

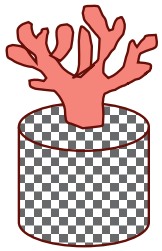


プレス成型にて
ブリケットに加工

（海水の流れ）

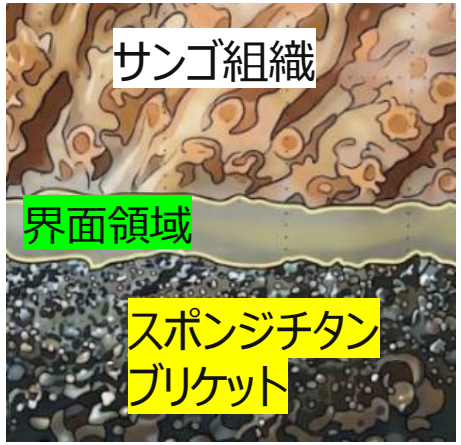


多孔質であり
基盤内を海水が通水



ブリケット
：粒を圧縮して固めた塊状の成型物

検証テスト（㈱イノカ殿と協業）



サンゴがスポンジチタンブリケットを**自身の骨格の一部と認識**して結合していることを確認

＜オープンイノベーションを通じた開発の加速＞

協業・共同研究先	株式会社イノカ	和歌山大
事業タイプ	**生物共生型ブルーインフラ事業**（護岸・防波堤）	**ブルーツーリズム・サステナブルツーリズム事業**（観光・地域価値化）

終了

本資料は金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また本資料に記載された将来の予測等は説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため様々な要因により実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知ください。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。

Copyright © 2026 OSAKA Titanium technologies All rights reserved.